

● 湖南圏域医療福祉ビジョンの推進

令和6年度 南部健康福祉事務所

制度や分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を越えて、高齢者だけでなく、地域の住民一人ひとりが生涯にわたり健康づくりを土台にして、病気や介護が必要となった時の事を心配せずに心豊かに安心して暮らせる地域を目指す。

番号	目標項目	目標設定の理由	達成状況（実績）	達成度	成果と課題	基本構想実施計画関連箇所	担当係
1	生涯を通じた予防健康づくりの充実強化	<p>未来を担う子ども若者、働き盛り世代を主軸にした健康増進、地域・企業、保険者の連携強化、生活習慣病予防・重症化予防の体制整備に向け、POSTコロナにおける予防・健康づくりの充実強化を図る。</p> <p>・保健医療福祉関係者が連携して、特に、若者、働き世代をターゲットとした健康なまちづくりを目指し取り組みを進める。</p> <p>・子ども、若者世代のひきこもり相談の割合が大きく、自殺が増加傾向にあること、また次世代を担う子ども若者世代の心身の健康づくりは、その親も含めライフコースを踏まえた予防・健康づくりの推進が必要。</p>	<p>①2040年を見越した健康増進、地域・企業・保険者の連携強化、糖尿病発症・重症化予防体制整備に向けた協議の場の設定・実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなでコラボヘルス推進会議 1回(3/14) ・各団体が持つ資源や情報の更新、コラボで情報発信(9月) ・湖南圏域糖尿病対策推進会議 1回(3/19) ・歯科保健推進会議 1回(2/27) <p>②質の高いケア提供のための人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修等 2回(健康づくり:1回、糖尿病:1回、歯科:実施なし) 湖南圏域自殺対策推進会議(事例検討) 1回 湖南圏域アディクション関連問題への支援を考える会(事例検討会) 1回 母子保健従事者研修会 1回 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ5類移行後、再開した健康づくり分野における地域、企業、保険者の連携強化、糖尿病重症化予防体制の整備に向けた協議の場を継続して持つことができた。 ・研修会の開催についても、働き盛り世代をターゲットとした地域職域連携推進事業(みんなでコラボヘルス推進事業)を活用し、地域・職域関係者へのヒアリング・調査等により現状把握を行い、事業所健康づくり情報交換会の開催ができた。また、推進会議では、関心が低い層に向け、健康情報を届ける取り組みや協働した取組について協議することができた。 ・救急告示病院へのヒアリング、未遂者支援事業の報告件数から若年の自殺未遂者が増加傾向にあることがわかり、若年自殺未遂事例の事例検討会を実施した。今年度は自殺対策推進会議と同日実施であったため、各市ヘルス部門、障害部門等の参加であったが、次年度は、教育部門、若者部門など若年層に関わる機関が参加できるような取り組みを検討していく必要がある。 ・依存症対策について各市に相談支援の現状をヒアリングし、支援経験が少なくノウハウの蓄積が困難なこと、圏域保健所や他機関の役割について周知できていないことが課題に挙がり、県の動向や圏域における取り組みの共有、相談支援に関わる支援者の資質向上を目的として事例検討会を実施した。今後、依存症も精神保健相談のひとつとして住民が身近な相談機関で支援を受けることができるために、圏域での定期的な研修(事例検討会)の開催や、支援として個別ケースに伴走することなどを検討する必要がある。 ・管内の母子保健従事者を対象とし、支援能力向上を目的として研修会を開催した。管内の現状としてメンタルヘルス不調を抱える妊産婦が増加傾向にあり、メンタルヘルス不調の妊産婦支援に関する事例検討会を開催した。次年度以降も開催を希望する意見が多かったが、今年度の参加者は各市母子保健担当が中心であり、各市福祉部門や助産所など母子支援に関わる多職種が参加できるような取り組みの検討も必要である。 	<p>1人 自分らしい未来を描ける生き方</p> <p>①生涯を通じた「からだところ」の健康</p> <p>政策(2)本人の暮らしを真ん中においた医療福祉の推進</p>	医療福祉連携係 地域保健福祉係
2	世代、分野を超えた地域包括ケアシステムの構築	<p>未来を見据え、高齢化のピークを迎える2040年に向けた地域包括ケア体制の強化、高齢者のみならず、子ども、難病・障害のある方など、世代分野を超えて誰もが自分らしく暮らせるよう支援ネットワークの強化を関係機関とともに進める。</p> <p>(圏域医療福祉ビジョンの実現)</p>	<p>①湖南圏域医療福祉ビジョン(「見える化」バージョン)の周知、活用をすすめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各分野の会議等機会を活用して:10回(実績8回) ・圏域医療福祉ビジョンの更新:2040年を見据えた新たなバージョンを作成(3月) <p>②連携強化に向けた関係者の協議の場の設定:14回(実績24回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2025年医療福祉推進協議会 3回(7/17,11/27,3/7) ・認知症疾患医療連携協議会 1回(2/21) ・病院・在宅連携検討会議 1回(6/13) 医療介護連携フェスタ コア会議 5回(7/29,9/4,10/9,12/11,2/5) ・湖南圏域地域リハビリテーション推進会議 1回(1/29) ・新)湖南圏域管理栄養士連絡会 コア会議 3回 ・難病対策地域協議会 1回(3/13) ・湖南圏域精神保健医療福祉に対応した地域包括ケアシステム推進協議会 1回 ・湖南圏域精神保健医療福祉チーム会議 1回 ・湖南圏域自殺対策推進会議 1回 ・措置入院者等の退院支援および精神障害者在宅支援会議 1回 ・湖南圏域ひきこもり支援者連絡会 1回 ・周産期保健医療連絡調整会議 1回 ・重症心身障害児者・医療ケア児等支調査結果をもとに援推進チーム会議 3回 <p>③地域が多職種連携研修等、質の高いケア提供のための人材育成 研修、シンポジウムの開催等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療・認知症(医療介護連携フェスタ1回(12/18)) ・難病(2/14医療機器装着患者の災害対応をテーマに従事者研修を実施し35名参加) ・精神(7/31心のサポーターについてをテーマに従事者研修会を開催し13名参加) 実績:計4回 ・重心・医療的ケア児に実施した実態把握調査結果踏まえたシンポジウムの開催 1回 	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでから重点として進めてきた圏域の地域包括ケアシステムの推進は、新型コロナ後、中断・縮小せざるを得なかった連携強化に向けた会議等の場を再開し、今年度はさらに地域包括ケアの検討機会を充実することができた。 ・湖南圏域2025年医療福祉推進協議会は3回を通じてビジョンの「見える化」も活用し、現状評価も行った。未来へ向けての重点について意見交換ができた。関係機関においても現状説明や住民への啓発資料として活用につながるよう周知の機会を設定できた。 2025年を目前にし、今後、圏域の急速な高齢化進展を踏まえ、2040年を見据えたビジョン2025ver.を策定した。高齢者だけでなく、精神保健福祉、医療的ケア児、感染症や災害等の健康危機においても地域包括ケアが活かされるよう充実にも関係した協議が必要である。 ・精神は会議体系を再編し、現場レベルのネットワークの強化と圏域の課題検討を行った。 ・他職種連携や人材育成のための研修会について、滋賀県病院協会退院ネットワークと共催で、医療・介護連携の推進を目的とし、圏域の医療介護関係者とともに研修会を企画実施した。 ・精神は地域包括ケアシステムを推進するにあたり、精神保健医療福祉チーム会議のメンバーを軸に様々な分野、視点の意見を集約した。今後は圏域でひきこもり支援に力を入れ、支援ニーズの乏しい人に対する支援の在り方について、来年度以降、協議していく。 ・他職種連携や人材育成のための研修会について、滋賀県病院協会退院ネットワークと共催で、医療・介護連携の推進を目的とし、圏域の医療介護関係者とともに研修会を企画実施した。 ・8050問題など個人や世帯が複数の生活上の課題を抱えており支援が必要なケースなど、ひきこもり者を含み家族全体への支援が必要なケースに対する支援の充実を目的とし、各市で重層的な支援体制整備事業に取り組んでいる。今後圏域でひきこもり支援に関わる支援者らが困難ケースの事例検討や定期的な情報交換ができる場として、圏域での連絡会を活用し、関係者の資質向上や連携強化を目指す。 ・令和5年度実施の重心・医療的ケア児に実施した実態把握調査結果の報告と課題検討のディスカッションを目的にシンポジウムを開催した。圏域の課題について多職種でディスカッションを行い、課題解消に向けて行われている取り組みや今後必要な取り組みを共有することができた。また、それぞれの課題について支援者だけでなく当事者を含めた、参加者それぞれができることについて考える機会となった。圏域で取り組むべき課題について現地とオンラインのハイブリッド開催とすることで、移動が困難当事者やその家族の参加も可能となり、今後の開催もオンライン 	<p>1人 自分らしい未来を描ける生き方</p> <p>①生涯を通じた「からだところ」の健康</p> <p>政策(2)本人の暮らしを真ん中においた医療福祉の推進</p>	医療福祉連携係 地域保健福祉係 総務係

● 湖南圏域医療福祉ビジョンの推進

令和6年度 南部健康福祉事務所

制度や分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を越えて、高齢者だけでなく、地域の住民一人ひとりが生涯にわたり健康づくりを土台にして、病気や介護が必要となった時の事を心配せずに心豊かに安心して暮らせる地域を目指す。

番号	目標項目	目標設定の理由	達成状況（実績）	達成度	成果と課題	基本構想実施計画関連箇所	担当係
3	健康危機管理体制の整備	<p>保健所は地域の健康危機管理拠点であり、新興感染症、再興感染症、災害等の健康危機事案発生時に備え、平時から地域の健康危機管理体制整備に務める必要があるため、令和4年度から健康危機管理体制が創設され、保健所内の健康危機管理体制の組織強化が図られた。</p> <p>平時から食中毒予防や感染症予防に対する県民意識を向上させるとともに、関係機関と連携した健康危機に強い地域組織体制の整備および人材育成を進めることで、次の新興感染症まん延や大規模災害、食の安全など未来を揺るがす健康危機にも対応できる地域の健康危機管理体制の強化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 健康危機対処計画に基づき関係機関と連携し、新たなパンデミックや大規模災害に備えた体制整備を進め、地域の関係機関の連携強化、人材育成にも努めた。また、継続課題である安定した小児救急医療体制の整備を図るため、協議の場の設置に向けての調整を進めた。 南部地域感染症予防対策連絡会の開催 1回 健康危機管理調整等会議の開催 1回 県移送等訓練の所内伝達、PPE着脱訓練 各2回 県感染症制御リーダー養成研修、フォローアップ研修 各1回 小児救急医療体制：医師連絡会議の開催 2回 協議会設置に向けての病院・医師会・行政事務組合・各市説明協議会の設置 出前講座の実施 1回 保健衛生講座開催（食中毒・感染症予防） ・年27回 ・受講者680人 災害医療体制検討委員会の開催 1回 保健医療福祉調整南部地方本部運営訓練の実施 1回 医療的ケアが必要な小慢および難病の方の「災害対応ノート（滋賀県）」の作成・更新対象全ケース 小児慢性人工呼吸器装着患者のうちノート作成済みの者（終日使用：17/18 継続使用：5/22） 	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関の感染対策は、ICNの専門性とネットワークを活用し、院内感染管理水準の維持と向上を図るとともに、地域での感染対策は、高齢者や障害者の入所施設の職員を対象とした感染制御リーダー育成事業を県において実施された。今後は、新たなパンデミック等に備え感染対策ネットワークを強化するとともに、感染制御リーダーについては、ICNと連携して、地域の感染対策向上につなげて持続可能な地域の感染管理体制の構築が重要である。 災害について管内市にヒアリングを実施したことで、各市の現状や課題等を確認することができ、次年度以降の体制の維持および強化のためにすべきことの整理ができた。各関係機関が実際に災害が発生した際の具体的な状況を想定しながら、必要な訓練が実施できるよう支援、働きかけをしていく必要がある。 保健医療調整南部地方本部運営訓練を実施し、DMATインストラクターからの助言も仰ぐことで、組織内の災害発生時対応能力を向上させることができた。また、DMATや市の参加により、連携を考えていくよききっかけとなった。今後は、よりDMATや関係機関との連携強化や受援体制の構築を検討すること、また引き続き保健所全職員に対して災害時に必要となる行動や機器の操作に関する継続した小規模訓練の実施が重要である。 小児科医不足および医師の働きかた改革を背景とした体制維持のための意見交換を行い、課題解決のための方向性を議論し、具体策として上がった補助金メニューの組み換えや出前講座の調整等対応策について関係者と検討をすすめることができた。今後、安定した小児救急の運営に向けて長期目標の設定のために関係者とともに課題の洗い出しや解決策の検討を行うとともに、課題解決のための場の設置等に向けた取組の調整が必要である。 小児慢性特定疾病療養費受給者で終日人工呼吸器使用者を優先とし災害時対応ノートの作成を機会に災害対策における自助・共助の意識向上に務めた。草津市のケースでは市医療的ケア児コーディネーター、市危機管理課と訪問し、災害時対応ノートの聞き取りと合わせて個別避難計画や市の災害時の体制についての共有を行った。今年度、全ケースへの作成が完了しておらず、今後も随時作成を進めていく必要がある。 	<p>1 人</p> <p>自分らしい未来を描ける生き方</p> <p>①障害を通じた「からだところ」の健康</p> <p>政策(1)生涯を通じた健康づくり</p>	健康危機管理係 生活衛生係	

※「達成状況」

◎ 目標を超えて達成（100%超）、○ 目標どおり達成（100%）、△ 目標の半ば以上の実績（50%以上）、× 目標の半ば以下の実績（50%未満）